

2018年10月7日(日)朝10:10 主の聖霊降臨節第21 受洗者試問会等
10月第1聖餐総員共同主日礼拝式説教日本アライアンス庄原基督教会

説教題：主の証言;わたしは直ぐに来る

聖書:ヨハネの黙示録 22章20～21節

＜口語訳＞

新約聖書409頁

ヨハネの黙示録 22章20～21節

＜新共同訳＞

新約聖書480頁

ヨハネの黙示録 22章20～21節

＜新改訳第3版＞

新約聖書502～503頁

ヨハネの黙示録22章20～21節

＜塚本訳＞

新約聖書824～825頁

主題:主イエス様から賜った聖霊の導き

によって主の弟子たちは、主の名による
神の罪からの救いを宣べ伝えたように、
私たちも、福音を伝えたい。

序論；

- ◇ヨハネの黙示録は、1章1節、「イエス・キリストの黙示」、神の御子イエス・キリスト様が、長老・使徒ヨハネに啓示の「神の国の奥義」、ローマ皇帝ドミティアヌス(81～96)時代の事。
- ◇ヨハネ黙示録1章は、御子の再臨信仰と愛、2章～3章は、7教会への手紙、4～5章は、羔羊礼拝、大讚美、6～13章は、聖徒、天使と龍、獣との戦い、14章は、小羊への大讚美、神無視の人々の裁きと信仰者への忍耐、15章は、金の怒りの鉢の神の裁き序曲、16章は、金の鉢の用意命令、獣の座の暗黒の裁き、ハルマゲドンでの龍と獣と主なる神との決戦、バビロン滅亡預言で、17章は、大淫婦と権力者の癒着、仔羊の勝利、18章は、バビロンの滅亡宣言と哀歌、19章は、大群衆讚美・長老らの礼拝、仔羊婚姻への花嫁招き、神の大宴会、ハルマゲドンでの神の大勝利、20章は、サタンの千年間幽閉、殉教者らの復活、千年間王座、サタンの滅亡、21章は、都形成、22章6～17節が再臨、18～19節が主のことばの絶対的權威の啓示。

本論；

◇本日、ヨハネ黙示録第22章20～21節から
主の使信に思い・心をとめます。

◆黙示録22章20～21節；ヨハネは主の再臨
について主の証言を聴きました。

◇22:20；

塚本訳；◆イエスの最後の約束

「20 これらのことを証明する者が言い給う、
『然り、私は直に来る。』アーメン、主イエスよ、
来たり給え！」

◇20節；「これらのことを証明する者」は、明らか
に、「主イエスよ」との応答が続いています
ので、「主イエス様」です。

⇒『然り、私は直に来る』と、「主イエス様」が
応答されたのは、ヨハネ黙示録22:17の
『来たり給え』という第3の聲、ヨハネも含む教
会の聲に対してでした。

⇒『然り、私は直に来る』は、「主イエス様」が、
ヨハネを愛し、「神の聖なる都」を幻の中に見
せ、彼の忠実な信仰への応答です。

⇒「主の再臨」が、聖なる都の啓示後、現実の
教会が、期待して求めて行くものです。

◇22:21;

塚本訳; ◆祝祷

「21 (願わくは、)主イエスの恩恵凡ての者と共にあらんことを！」

◇21節;KK師によれば、黙示文学では異例の形式での「祝祷」での締めくくりとなっています。パウロの書簡に多い形式です。

⇒併し、「(願わくは、)主イエスの恩恵凡ての者と共にあらんことを！」をだれが語ったのかが、鮮明にされていません。

⇒KK師は、これは意図的で、「凡ての者」の祝福で終わらせているというのです。

⇒御霊も、ヨハネも、全教会も、心を1つにして、「(願わくは、)主イエスの恩恵凡ての者と共にあらんことを！」と「祝祷」で終わっています。

⇒「主イエス様の祝祷」は、主日礼拝では、牧師が行いますが、「主イエス様の派遣命令」と理解されています。

⇒ヨハネ黙示録22:21の祝祷は、「主イエス様の派遣された凡ての人々」が、心を1つにして、「主の再臨」を「(願わくは、)主イエスの恩恵凡ての者と共にあらんことを！」と待望する。

結論；

- ◇ヨハネの黙示録は、1章1節、「イエス・キリストの黙示」、神の御子イエス・キリスト様が、長老・使徒ヨハネに啓示の「神の国の奥義」、ローマ皇帝ドミティアヌス(81～96)時代の事。
- ◇ヨハネ黙示録1章は、御子の再臨信仰と愛、2章～3章は、7教会への手紙、4～5章は、羔羊礼拝、大讚美、6～13章は、聖徒、天使と龍、獣との戦い、14章は、小羊への大讚美、神無視の人々の裁きと信仰者への忍耐、15章は、金の怒りの鉢の神の裁き序曲、16章は、金の鉢の用意命令、獣の座の暗黒の裁き、ハルマゲドンでの龍と獣と主なる神との決戦、バビロン滅亡預言で、17章は、大淫婦と権力者の癒着、仔羊の勝利、18章は、バビロンの滅亡宣言と哀歌、19章は、大群衆讚美・長老らの礼拝、仔羊婚姻への花嫁の招き、神の大宴会、ハルマゲドンでの神の大勝利、20章は、サタンの千年間幽閉、殉教者らの復活、千年間王座、サタンの滅亡、21章は、都形成、22章6～17節が再臨、18～19節が主のことばの絶対的權威の啓示。

◇**神**は、変わらない愛と思いやりの神です。

◇**ヨハネ黙示録22章20～21節**は、**主の再臨**を「**主イエス様**」は、**ヨハネ黙示録22:17**の教会の第3の聲に応えて、「**然り、私は直に来る**」と語って下さいました。

⇒教会も、即座にお応えして、『**来たり給え**』と言っています。

⇒「**これらのことを証明する者**」との自己紹介の「**主イエス様**」は、教会への応答が、誠実になされたことを「**証明する・証しするお方**」です。

⇒「**主の再臨**」は、「**主イエス様**」から直接聞いていない私たちにとっても、真実な約束です。

⇒**ヨハネ黙示録22:17**で『**来たり給え**』と、**御霊**も、**ヨハネ**や教会の第3の聲に加わって下さっているからです。

⇒**ヨハネ黙示録22:21**は、「(願わくは、)主イエスの恩恵凡ての者と共にあらんことを！」と、**御霊**や**ヨハネ**や第3の聲が心を合わせて、「**祝祷**」しています。

⇒「**主イエス様の祝祷**」には、派遣の意味があり、ここも同じ思いで、「(願わくは、)主イエスの恩恵凡ての者と共にあらんことを！」と祈る。